

徳島 ICT活用モデル 実践例 中学校・中等教育学校（前期課程）編

	活用モデルの 段階	教科・科目	タイトル	説明	学校名	写真
1	S	社会	なぜ、アメリカ合衆国は世界一の経済大国であり続けているのだろうか	単元の導入で設定した課題の解決をめざした本時の授業において、生徒が見通しをもって課題解決に取り組むことができるように、使用するワークシートを、学習活動に取り組む前に、スクリーンに提示する。そして、スクリーンに提示したワークシートに、生徒を注目させ、ワークシートに記述する内容や記述する際に留意する点を確認し、学習活動に取り組ませている。	阿波中学校	
2	S	数学	表・式・グラフを利用して問題を解こう	車椅子マラソンを応援するという設定で、応援を効率的に行うために、どのくらいの時間が必要なのかを比例の表、式、グラフの3つを利用して問題解決を行う。それぞれの解決方法をエキスパート活動でMetaMoJi ClassRoomでまとめ、その後、クロストークでそれぞれの解決方法を共有する。3つの解決方法を共有することで、それぞれの解決方法のよさに気づき、今後の問題解決のために有効な考え方をまとめる。	鳴門中学校	
3	S	理科	力の合成と分解（浮力）	水面からの深さと水に沈んでいる部分の体積を変えて、物体にはたらく浮力の大きさを予想し、クラウドアプリで配付したワークシートに作図する。予想をプロジェクターで投影し、学級で共有する。予想を確かめる実験を、班で分担して行う。ワークシートに測定結果を記録し、浮力を求め、水面からの深さが浅い時と深い時のそれぞれにおいて、物体の体積と浮力の関係のグラフをかく。プロジェクターで投影した各班のグラフを分析・解釈して結論を導く。	市場中学校	

徳島 ICT活用モデル 実践例 中学校・中等教育学校（前期課程）編

	活用モデルの段階	教科・科目	タイトル	説明	学校名	写真
4	S	技術	計測・制御のプログラミングを活用して生活や社会の問題を解決しよう	MetaMoJi Classroomで配布されたワークシートを使用して、問題を見いだす。地域や社会で発見した問題を、付箋機能を使ってテーマごとに色分けしながら分類するとともに、縦軸に空間的広がり、横軸に時間的広がりを示したグラフのワークシートを班内で共有し、作成した付箋をワークシートに貼り付け、班員の意見を可視化したり、共同編集したりする。	津田中学校	
5	S	音楽	作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう	「音楽を深く聴き、グループで意見をまとめる」という学習過程において、Microsoft Teamsで配付された音源を個人で繰り返し鑑賞することによって、音楽の構造と曲想とを関連付けながら聴き深める。グループで意見をまとめる際には、分配器を使用し、実際に音楽を聴きながら意見交換を行うことで、音楽と感じたことを結び付けながら共有する。グループの意見を全体で共有する場面では、まとめた内容をスクリーンに提示し、その内容をDVDで視聴しながら共有する。	富田中学校	
6	S	美術	私のしるし ～てん刻～	石に彫る文字や図のアイデアスケッチを、MetaMoJi Classroomの製図機能を用いて行う。字体や配置を構想する際に、大きさや場所を変えた図案を試行錯誤しながら複数表現し、比較・検討を行う。各自が制作したアイデアスケッチを共有して鑑賞する活動を随時行い、表現を行う際の参考にする。プロジェクターで資料を提示するとともに、資料をデータで配布し、必要に応じて制作の参考にできるようにする。	城西中学校	

徳島 I C T活用モデル 実践例 中学校・中等教育学校（前期課程）編

	活用モデルの 段階	教科・科目	タイトル	説明	学校名	写真
7	A	数学	連立方程式の問題をつくってみよう	MetaMoJi ClassRoomで配信された連立方程式を満たす文章問題を生徒が各自で作成する。その後、作成例を学級で共有することで、考え方や視点に気付く。さらに、気付いたことをもとに、それぞれ自由な発想で連立方程式と文章問題を作成し、どのような視点で作成したのか、どのようなところに苦労したかなどを話し合うことで、数学的な見方・考え方を働かせる。	穴吹中学校	
8	A	外国語	Things to Do in Japan	オーストラリアの姉妹校の中学生に、日本や富東生の好きなものを紹介するメールを書くという学習活動において、MetaMoJi ClassRoomを活用し、ペアで1つのメールを英文を入力して完成させていた。分からない表現を調べたり、ペアで書いたものをタブレットで共有してコメントしたりしていた。書き終わった後に英文をスクリーンに映し、全体で内容を共有し、フィードバックを行っていた。	富岡東中学校	
9	A	外国語	Research and Presentation	学級で人気があることについて、Microsoft Formsでの調査結果を、グラフを示しながらポスターセッション形式で発表する。アンケートを瞬時に集計し、その結果をグラフで示すことで、聴く側の生徒たちにとっても分かりやすく、発表後の活発な質疑応答につながる。振り返りの場面では、Microsoft Formsを使用して授業の感想を入力することで、すぐに学級全体で本時の学びを共有することができる。	岩倉中学校	
10	A	外国語	Our New Friends	話すこと〔発表〕の授業において、生徒が原稿を作成する際にMetaMoJi ClassRoomを活用し、発表原稿を入力していた。発表原稿を入力することで、手書きするときよりも負担が小さくなり、修正しやすい状況が見られた。発表時には原稿を見ずに行っていたが、発表後に書いた内容をテレビモニターに映し、書いた英文を全体に共有することで読むことへの活動にもつなげることが可能な授業展開となっていた。	井川中学校	

徳島 ICT活用モデル 実践例 中学校・中等教育学校（前期課程）編

	活用モデルの 段階	教科・科目	タイトル	説明	学校名	写真
11	A	技術・家庭 (技術)	木材加工の技術を使って 生活の問題を解決しよう	他者の製作品品を見て回り、技術の見方・考え方を働かせながら、4つの視点で評価をする。その際、生徒は作品に貼り付けてある二次元コードをタブレット端末で読み取り、Microsoft TeamsのOneNoteで共有している作品評価シートにアクセスして入力を行う。作品の使用後の自己評価と他者から書き込まれた評価をもとに、自分の作品の改善策について考える。	日和佐中学校	
12	A	技術・家庭 (家庭)	家族のための安全な住まい方	「幼児」「高齢者」「自然災害」の視点の中から、自分の課題について考え、課題解決に向けて実践できそうな安全対策について調べる。生徒1人1人が作成したスライドを用いて、視点別に編成された班ごとに発表し、意見交換を行い、その後自分事として考え、実践計画を立てる。最後に、実践計画をミラーリング機能を使って全体で発表して共有するなど、ICTを効果的に活用している。	日和佐中学校	
13	A	美術	校内にトリックアートを出現させよう	班ごとに作品を制作していたが、班で1台のタブレット端末を活用し、手本となる絵を表示し、参考にしながら作業を進めていた。生徒たちは手本を見て、班内で相談しながら制作活動に取り組んでいた。毎時間、授業の最後に作品を写真で撮影し、次の授業の終わりに前の写真を見ながら、進捗状況を確認し、振り返りを行うことができるようにしていた。	穴吹中学校	
14	A	特別活動	自分の生活習慣を見つめ直そう	現在の自分を見つめ、自己の成長考える学級活動(2)の授業。生徒1人1人が回答した事前アンケート結果をまとめた資料を見たり、養護教諭から生活習慣の大切さについて話を聞いたりして、生活習慣の課題を自分事として捉え、自身の目標を設定して実践につなげる。自分自身の課題を解決できるような具体的な目標を設定するために、自身の事前アンケートへの回答を1人1台タブレット端末でそれぞれが確認する。その後、互いにアドバイスをし合い、自分で意思決定した目標について発表する。	不動中学校	

徳島 ICT活用モデル 実践例 中学校・中等教育学校（前期課程）編

	活用モデルの段階	教科・科目	タイトル	説明	学校名	写真
15	M	社会	リサイクル都市・江戸の町人	江戸時代に行われていた再利用や再資源化の学習を通して、これからの未来をよりよくしていくために何が大切かについて考える。タブレット端末を活用することで、どのようなリサイクルが行われていたかを視覚的に示し、表現する。江戸時代のリサイクルシステムを、現在の環境問題への取組に結び付けるとともに、今やるべきことを考え、行動する態度を身に付ける。単元の最後にはアプリケーション（ラウンジ）を用いて振り返りを行う。	東祖谷中学校	
16	M	数学	円	サッカーで「どの位置からボールを蹴るのがゴールに入りやすいか」を、静止画を見ながら予想した後、タブレット端末と作図ツール（Geometric Constructor）を活用して考察する。次に、班での話合いや学級全体の発表を通して、自分の意見と他者の意見を比べる。さらに、場面や条件を変えた問いについて、図形を動かしながら考える。作図ツールの角度が表示される機能を使って、考えた結果と実際の入りやすさを確認する。	城ノ内中等教育学校	